全国初！

地理情報システム(GIS)に新機能を搭載して業務を効率化

2025年２月　定例市長記者会見
資料２　　政策開発部ＤＸ戦略課

○ 道路管理や開発許可業務など、職員が内部業務で使用している地理情報システム(GIS※)に、新たに３つの新機能を搭載し、１月22日から運用開始（**同一システム上での下記の３機能実装は全国初**）　※ GISとはGeographic Information System の略

○ 情報の速やかな共有と収集により、業務の更なる効率化を図ります

① 現場からの情報登録機能

登録所要時間
1件15分→8分　**約50%減**

- スマートフォンやタブレットを使用し、**現場から位置情報のプロットや詳細情報の入力、写真投稿**ができる機能
- 現場の情報を、庁内の職員や関係所属に**速やかに情報共有**することが可能

≪ 活用例 ≫

- 災害対応時の現地調査情報の入力・共有
- 道路パトロール結果の入力・共有
- 「ココナビこおりやま」現地対応状況の入力

② SNS投稿情報の収集・表示機能

収集表示所要時間
１件15分→2分　**約85%減**

- SNSに投稿された情報から、**災害や事故などの情報を抽出してリアルタイム（最短２分）で表示**する機能
- 位置や現場の様子が地図上で確認できるため、**迅速な現地対応**が可能

≪ 表示される情報 ≫

エリア	福島県全域
種類	気象・災害、火災、事件事故、交通情報等
対象SNS	X、YouTube、Instagram、LINE等

③ 位置情報表示機能

位置確認時間
1件6分→1分　**約80%減**

- 専用アプリにより、**公用スマートフォンの位置情報を取得し、地図上に表示**する機能
- 現場対応職員の位置情報を把握できるため、**適切な人員配置**が可能

≪ 公用スマートフォン≫

- 2023年５月に本庁内に210台の公用スマートフォンを配置
- 災害発生時には、対応部局に集約して利用予定